

学校行事参加型＋講演会＋在宅取組型（小学校）

学校名等	養老町立上多度小学校
実施日時	平成28年10月2日（月）9:30～11:30
会場	養老町立上多度小学校 体育館及び各教室
参加人数	130名（保護者・教師） 147名（児童）
学習課題（分野）	親子で人権について考え、人権意識の高揚を図る
運営者の願い	今年度の本校における教育課題の一つに人権教育がある。学校では自分や仲間の人権を尊重する精神を育てるために「キラリ見つけ」「スリッパそろえ」などの取組を実施している。 さらに、保護者の人権意識を高める取組や親子でふれあう取組を実施することによって、学校と家庭が連携し人権教育に取り組むことができ、相乗効果を上げることができると考えた。
学 習 の 内 容	
<p><日程></p> <p>9:40～10:25 授業参観 10:40～11:25 藤田敬一氏による親子人権講話 11:35～12:00 家庭での在宅型取組の決定</p> <p><授業参観> 道徳や特別活動で、子どもたちが人権に関する学習に取り組む様子を参観した。 1年生では、道徳で「にわのことり」をもとに、他者を思いやる心の大切さを学習した。</p> <p><藤田敬一氏による親子人権講話> 岐阜大学元講師の藤田敬一氏を招聘し、「生き合うということ」と題して、親子で講話を聴いた。 子どもたちには「いただきます」の言葉の由来や「あいさつ」について、身近なことをもとに分かりやすく話していただいた。 また、保護者に対しても、親御さん同士のかかわり方や子どもたちと向き合うことの大切さについて、ご講話いただいた。</p> <p><「親子ふれあい〇〇週間」より> ハグ、ハイタッチ、お料理など、親子で相談して決めたふれあい週間の内容について、1週間取り組み、取組表を回収した。 また、回収した取組表は校内に掲出した。</p> <p>【児童の感想から】 自分からお父さん、お母さんのところにハグしに行くことができ、うれしかった。</p> <p>【保護者の感想から】 家事の手を止めて、子どもと向き合うことができました。大きくなったことも実感しました。これからも続けていきたいです。</p>	



講演会では、命を確かめ合う「あいさつ」や人と人とのかかわり方について、子どもだけでなく保護者に対しても語りかけていただけました。

講話の後の感想タイムでは、保護者からもお互いを尊重することの大切さについて、語ってくださる姿が見られました。



在宅型取組では、講話の後に親子でいっしょに相談して決めたことなので、主体的に取り組むことができました。感想にも親子でふれあえた喜びが数多く見られました。

